

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	23
--------	----

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	妊婦健康教育・保健指導・相談事業					
予算科目	4 款 1 項 5 目					
予算事業名	母子衛生費					
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる					
担当課	健康福祉課	担当課長	物袋 由美子			
事業担当者	上安 由里恵	一次評価者	持松 可奈子			
事業の性格	法定事務					
法令根拠等	母子保健法					
事業の対象	妊婦とその家族					
事業の目的	妊婦やその家族が安心・安全なお産が迎えられるよう、経済面・身体面・精神面で支援を行う。また早産・低出生体重児の予防や食生活の改善、妊婦の友達づくりの場の提供を目的として、健康教育事業を行っている。					
実施期間	開始年度	昭和 50 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	福岡県医師会、助産師会、大分県医師会、佐賀県医師会と委託契約し、14回分の妊婦健康診査費を公費で負担している。母子健康手帳発行時に全員、さらに健診結果によって訪問・電話で様子伺いや保健指導を行っている。また年2回プレママ教室を実施している。妊娠中の体調管理、食事管理についての講話やグループ学習、調理実習を行い、妊娠中だけでなく産後の生活にも活かせる内容にしている。					
目的達成の指標	プレママ教室の参加者数・率					
	区分年度	単位	27 年度	28 年度	29 年度	年度
	目標	人(%)	11(28)	6(20)	11(20)	
実績	人(%)	6(10.7)	4(12.5)			
指標設定の考え方	多くの妊婦や家族に参加してもらうことで、目標達成に繋がると考えた。					
事業遂行時懸案事項等	参加者数が減少しているため、母子健康手帳発行時に教室の勧奨を行ったが、仕事が忙しく参加することが難しいという方がほとんどだった。また産婦人科より貧血の方に対する食事指導の依頼があった。					
事業実施時懸案事項対応等	教室終了後、参加者にどのような内容だったら参加したいか等のアンケートをとった。また、これまで調理実習のメニューをおかゆとだしのとり方のみにしてきたが、貧血の方がいることから、副菜をメニューに取り入れ、貧血予防に取り組んだ。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,115 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		27 年度予算	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算
事務量	① 人工数	0.30	0.25	0.25	0.25
	② 人件費単価	6,701	7,289	7,381	7,381
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	2,010	1,822	1,845	1,845
事業費	直接事業費	7,520	7,613	7,537	7,537
	人件費	2,010	1,822	1,845	1,845
	合 計	9,530	9,435	9,382	9,382
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	9,530	9,435	9,382	9,382
	合 計	9,530	9,435	9,382	9,382

事業費計画

(千円)

区分/年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
目 標	7,520	7,613	7,537	7,537	7,537
実 績	5,081	6,392			

事業活動の実績(活動指標)

項目	単位	27 年度予算	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算
妊婦への保健指導件数	件	68	67	67	67
妊婦への保健指導率	%	100	100	100	100

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 938 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		27 年度決算	28 年度予算	28 年度決算	
事務量	① 人工数	0.30	0.25	0.25	
	② 人件費単価	6,701	7,289	6,768	
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	2,010	1,822	1,692	
事業費	直接事業費	5,081	7,613	6,392	
	人件費	2,010	1,822	1,692	
	合 計	7,091	9,435	8,084	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,091	9,435	8,084	
	合 計	7,091	9,435	8,084	

実施備忘録

自己評価	評価者	上安 由里恵
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

母子健康手帳の交付は保健師が個別に対応することで、フォローが必要な対象者を把握でき、助言ができるため必要である。
また妊娠中の身体の変化や食生活の改善方法を知っておくことで、妊婦とその家族は安心してお産を迎えることができ、さらに妊婦・胎児の健康に影響を及ぼす。
町が主体となって行うことで、町内のママ友づくりのきっかけの場となり、出産後も交流できる繋がりをつくること
ができる。
しかし教室の利用者は減少しているため、教室の開催日や内容などを見直していく必要がある。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

教室終了後、アンケートをとっているが、参加者だけでなく、母子健康手帳発行時に妊婦全員を対象にアンケートをとり、教室の開催日や内容などを見直していく必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		C
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		C
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

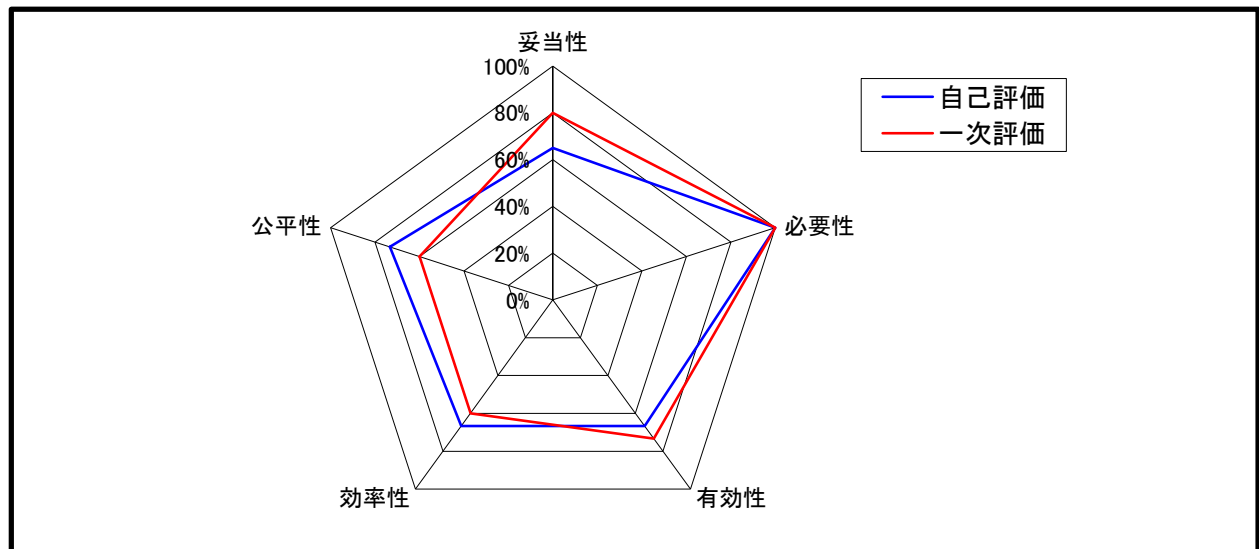


見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

妊婦を対象とした保健指導、相談事業に関しては、母子手帳発行時に個別対応を全件実施しており、また産科医からの保健指導依頼については、専門職が対応して健康問題へ対応している。集団健康教育に関しては、利用者の減少が問題であるが、産院の妊婦学級に参加している方もいるため、利用者の少ない原因を確認するとともに、その対策を検討する必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価 評価者 物袋 由美子

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

母子手帳発行時の妊婦相談や妊婦健診の助成により、安全に出産し、安心して育児につなげられるように支援している点は良好と考え、継続が必要と考える。集団でのプレママ教室の出席者が少ない点については、それぞれの評価のとおり、必要性や原因、内容の検討等を課題として検討することが必要と考える。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	プレママ教室について、こういった内容や曜日であれば参加できるか等のニーズを把握するために、母子健康手帳発行時に妊婦全員を対象にアンケート調査を行う。さらに赤ちゃん訪問の際、産婦にどのような事に困ったかや聞いてみたかったか等のヒアリングを行う。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に行うアンケート調査やヒアリングをもとに分析を行い、平成31年度以降、プレママ教室の内容等を改善していく。 他市町村のプレママ教室の状況をまとめたところ、体験型を取り入れているため、今後の内容を検討していく。 低出生体重児の予防を目的としてプレママ教室を行っているため、目標達成の指標を低出生体重児の件数にする。

外部評価

今後の方向性 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	見直しの具体的内容 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	評価 A

外部評価委員の意見

本事業は元来から久山町の重要な売りであり価値であると考えられるので更に力を入れていただきたい。プレママ教室については、産院等で別のサポートを受けた方を全対象者から差し引いた対象者の利用率を指標にすることを検討されたい。また、プレママ教室の内容を動画で作成し配信することで、仕事で教室に来れない方への対策になるのではないかと。

経営者会議

経営者評価者	町長
---------------	----

今後の方向性 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	見直しの具体的内容 <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	評価 A

経営者会議の評価

プレママ教室については、母子健康手帳を配布した妊婦全員を対象にアンケート調査を行い、どういった開催であれば参加するのかを把握すること。その際産院等でのプレママ教室を別途受けている人数を把握し、対象者から除外することで、目標達成指標の整合性をとると共に、成果指標と活動指標について再確認すること。
また、プレママ教室の実施内容についても、教室の時に、出産に必要な粗品を配布する等検討してはどうか。